石桜新聞

発行所
盛岡市仁王田圃
岩手高等学校
岩手中学校
出版委員会新聞部
責任者　熊谷詳二
印刷所
河北印刷株式会社

文化祭特集！

39年度 岩高 岩中 文化祭開かる

◇…朝夕、めっきり寒くなり岩手山や、他の山々も雪をいただき…◇

◇…寒さがこたえるようになった冬は間近である。さて、後期最…◇

◇…大の行事である、文化祭がきょうから二日間、盛大に催され…◇

◇…る。今年は、市内各校とも、文化祭が鉢合せになり、まさに…◇

◇…文化の秋といった感が強い。……◇

恒例の岩高岩中文化祭は今日から二日間華々しく本校において開催されることになった。

弁論、音楽等の講堂における催しものを初めとして物理、化学、生物、書道、写真、郷土研究、郵便友の会、絵画、図書、JRC、山岳、音楽、地学、映画、社会科研究クラブ、体育委員会、生活委員会、出版委員会の十九会場に分れて催されるわけであるが、各会場ではいろいろな趣をこらして多彩な文化の華を咲かせている。

各部は日頃汎帯といわれる文化活動を、バンカイせんものと張り切っている。

今年は昨年とほぼ同じ規模であるがこの期を利して文化部を理解してもらおうとする感が強いことは見逃すことが出来ない。

今年は、世紀の祭典といわれる東京オリンピックの年であるがそれに関連する展示が少ないのは遺憾である。また今年の特徴でもあろうが、昨年、一昨年に比べ写真による展示が減り、ほとんどは足で調べたものや実験で得たものを展示しており、アンケートによる統計も少なく一昨年あたりと対象的な文化祭となっている。

これと同時に昨年もそうであったが文化祭を単なるお祭り騒ぎではなく、学生生活の思い出の一ページにしようとする考えの表われが感じられる。

この劇は三幕一場からなっており悲愛・ユーモア・愛情を順につづいていく人情の変遷を描いた劇である。

一幕
老人が一人息子に死なれ浮世を捨てひっそりと山番をして酒ばかり飲みながら暮している。

そんな冬のある日、息子のなりをした狸を話し相手に見つけ酒によって忘れようとした息子がよみがえってくる。

二幕
狸は木枯しの吹く日は毎晩息子のなりをして遊び劫に来るようになった。ある日、狸は突然お礼をしたいと言いだす。

老人の答は「息子」であった「もしそれがだめなら後生のために小判一枚」と冗談を言うが……

三幕
三年後のある日、狸は苦労してそれを手に入れて尋ねて来る。

老人はそんな狸に感謝を述べ、そこでいっそう人間と動物の愛情が深まってくる。

スタッフ
顧問　小山先生
演出　川村記年
助監督　高村正則
舞台監督　越戸輪雄
果金沢義広
照明　加藤克美
岩渕博行
大道具全員
小道具全員
衣裳全員

キャスト
老人　中坪久正
狸　浅沼

○森の教会堂
○大漁節
○お江戸日本橋
○ずいずいころばし
○カルテット
○　他

霜夜だぬき

今年の演劇部は、霜夜だぬきである。昨年とほとんど部員が変っておらず、市内高校演劇発表会等にも参加し、大変気を良くしており、昨年にも増して演技にお互えぬユーモアが昨年同様好評を拍するものと思う。

論説

文化祭にあたって

さて、今年も文化祭がやってきた月曜と火曜であり、これは月並に考えても、父兄等の観覧者が少なくなる事は、が、今年は、例年にない多難な文化祭となりそうだ。

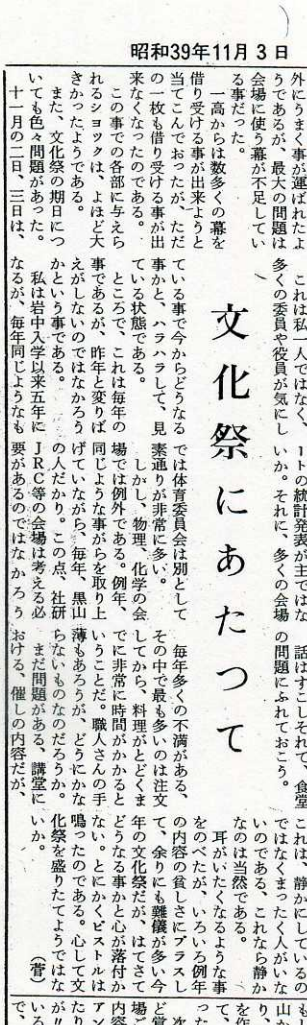
文化祭予算については、会長の高松君の働きで、意外にうまく事が運ばれたようであるが、最大の問題は会場に使う幕が不足している事だった。

一高からは数多くの幕を借り受ける事が出来ようと当てこんでおったが、ただの一枚も借り受ける事が出来なくなったのである。

この事での各部に与えるショックは、よほど大きかったようである。

また、文化祭の期日についても色々問題があった。

十一月の二日、三日は、



ている事で今からどうなるかと言うのだったと言っても過言ではないような気がする。

体育委員会では、その年の主な活動の結晶という事もあろうが、そのよう事は一種の言い分けであり、理由である、何んとも言っても内容の貧しさというと、文化各部も、アンケートの統計発表が主ではなく、

話はすこしそれて、食堂ではなくまったく人がいないのである、これなら静かなのは当然である。

耳がいたくなるような事をのべたが、いろいろ例年の内容の貧しさにプラスして、余りにも雑儀が多い年の文化祭だが、はてさてどうなる事かと心が落付かないこと。とにかくビストルは鳴ったのである。心して文化祭を盛りたてようではないか。

（骨）

か。私が思うには、これは午前、午後と内容を変える多少コース順にも左右されることもあろうが、そのよか、午前の部は半ば強制的でもある為か、まあ静かに見聞している。だが、正午を境に静かである事は午前とまったく同じなのだが、これは、静かにしているではなくまったく人がいなのである、これなら静かなのは当然である。

耳がいたくなるような事をのべたが、いろいろ例年の内容の貧しさにプラスして、余りにも雑儀が多い年の文化祭だが、はてさてどうなる事かと心が落付かないこと。とにかくビストルは鳴ったのである。心して文化祭を盛りたてようではないか。

（骨）

昔の文化祭

私は毎年、運動会が終って文化祭迄の間、実に早く感じる。元来、私はノンビリ屋のほうで、物事を注意して見る事がなく、催しもの等を見に行く事もあまり好きではなく、むしろ嫌いな方である。私は、岩中へ入って以来、五年と少々盛岡へ通ったが、岩高以外の文化祭へ行った事は一度だけ、それもすでに終っており、中へ入って観覧することも出来なかった。このようなわけで、他校の文化祭は知らない、けれど我々の学校の文化祭は、比較的覚えているつもりだ。そこで、私が覚えている範囲で、この文化祭をふり返ってみよう。

私が新聞部へ入って始めての文化祭は、物珍らしさと、始めて文化祭というものにかに接するという、喜びの様なものも手伝ってか、それまでに無い程の興奮を覚えている。

一番始めに頭に浮かぶことは、始めて見た会誌石桜の創刊号である。白い表紙に黒いインクで〝会誌石桜〟と印刷され、その下には何やら絵が書いてある、あれである。またこの年はスピード写真を写真部でやったり、スキー部で8ミリ映写をしたりしたのを覚えている。◆文化祭は前日二十四時間と、マジックインキ、モヅウ紙があればできると思っているんじゃないだろうな。◆そんな考えの人は、きょうでなくてもいいから、あすにでも考えなおしたほうがいいよ。◆みんなが紙に字を書くとき、君は頭をカクことになるよ。◆いろいろ文句をいったけど、そろそろポロが出て来るようだからやめにする。

新聞部

日程表

2日	展示会	10.00～16.00
3日	展示会	9.30～15.30
〃	音楽・弁論・演劇	12.30～15.30

石…割…桜

どうも朝夕めっきり寒くなって来て、木の葉も黄ばんで来たようである◆こういう時節になると、リューマチ等の出るよう老人はまったくごくろうなことである◆え……？、はっ、こりゃあ、失礼いたしました◆よけいな話はまたこの次にして、そろそろ文化祭が近づいてきたようですな、しかし今年はまあ大変のんびりしたもので、やっと二週間前になって〝やろうかあ〟と言って腰を上げたようなかっこう◆だが高三は文化祭などへのカッパと思ったのかそれとも役を引きついだので関係ないような顔をしているのか「文化祭なんか、関係ねー」と来やがる。えらいねー。文化祭を三年いや六年もやっているとこんなにもなるもんかねあ〟おほん〟◆しかし高三諸君ももう少し奮気してもらいたいね。◆こんな風にマンネリ化したような文化祭じゃいけやれよ）。◆東京では史上最大のオリンピックをやるし、新東海道線には世界で一番早い電車が走るし、（なに良く故障するって、それはそれこれはこれ）日本はもはや世界の一等国だ。◆我々の文化祭も、せめて盛岡一にやってもらいたいね。◆文化祭は前日二十四時間と、マジックインキ、モヅウ紙があればできると思っているんじゃないだろうな。◆そんな考えの人は、きょうでなくてもいいから、あすにでも考えなおしたほうがいいよ。◆みんなが紙に字を書くとき、君は頭をカクことになるよ。◆いろいろ文句をいったけど、そろそろポロが出て来るようだからやめにする。

新聞部

入部歓迎！

次の年の文化祭は前回ほどの変化はないが、各会場ごとに、その会場の展示内容の評価をたのんだり、アンケートを書いてもらったりして悪い点を改める事ができるよう思っているが、実際は、毎回異った展示内容なのである。

（岩田）

× × ×

我々は、毎年平凡で見ばえのしない文化祭をしているようだからやめにする。

冬の靴セール！
秋冬のモードシューズを
店いっぱい取揃えました。
クツとカサなら
協働社
東北38店チエンストア盛岡市大通り1丁目TEL②3739

ボタン・帽章・学帽
専門の店　三栄帽子店
盛岡市仁王通り　TEL (2) 5342

読書週間
10月27日～11月9日
期間中当店では全書籍1割引サービスして居ります。
新中古書籍の店
東光社書店
市内紙町（上の橋際）

各種印刷・タイプ印刷・帳簿類
河北印刷株式会社
盛岡市本町通り2丁目
電話代表 ③4256

ハーフサイズカメラならこれ
フジカハーフ　¥12,900
○EEで、しかもオートをはずしても使える
○セルフタイマーがついている
只今御買求めの方にフジフイルム特製アルバムを差上げます
大通文化堂
大通(川徳大通店前)
TEL 2－9716

ウインタースポーツ用品特売中
藤沢体育堂
盛岡材木町　TEL ③1435
盛岡サンビルデパート　TEL ②1445

岩高 岩中 文化祭をみる

展示内容は充実

前回より多難？

PCE おもしろい方言調査

岩手県最古の歴史を持つ郵便友の会は常に県内外のリーダーとして活動しており、その成績が実にうまく展示されている。

主な展示内容

◇盲学校への門の便りを送る運動（東北地連が岩手県において岩手中と岩手高の二校を指定校とし、岩手中はオリンピック関係の事、岩手高は岩手県の紹介とそれぞれ吹きこんだものを聞かせる。

◇国内外のテープ展示（現在までの交換したものでそれを聞かせる）

◇方言調査を一年間にわたって整理し本にしたもの。また実際に方言調査に行った時のテープを聞かせる。

◇杜陵学園とのスポーツ交歓会

◇盲学校との点字文通の実例及び点字タイプライターや盲人センターの紹介

この五つの大きな活動を軸として展示されており、その他では国内文通海外文通の実例郵便友の会の組織や活動の内容、現在までの表彰状や優勝カップの展示するほか、今年初の試みとして文通相談所をもうけ、専属の係員を置き、カナダ・アメリカ・オーストラリアの三カ国約二百名の外国ペンパルを一般の方々にも紹介する。

図書 縁の下の力持

毎年好評であったが、今年もその例にもれず好評をはくするような充実した内容を持っている。

毎年はなやかな展示会場の中にあって、一年間の活動を最もすばらしく発揮されている部であると言えよう。

○岩手の文学碑を写真、パンフレット等資料により紹介する。

○文学にあらわれた岩手の人と風土

明治より現在までの文学作品の中にとりあげられた岩手の人と風土を紹介する。

○岩手県文壇地図

現在岩手県内に散在する。

○岩手出身の文壇人。（郡市別）

地学 身近な問題を

地学は高一が主体となってはいるが実にすばらしい展示にしており、多くの人の興味を引くことは間違いないであろう。しかし指導するべき高三が一人という状態であるので多少心細い点もあるが、そこは岩高生もちまえの熱意でカバーしている。

地学と言っても岩石・地質・天文等と範囲はひろい。この会場は最も我々に関係の深いものを選んで展示しており、この点でも観覧者を魅することは疑いない。

主な展示内容は次の通り

◇気象
　台風の目
　台風の一生
　台風の目による変化
　世界の暴風雨

◇天文
　恒星
　星の種類
　太陽について、
　太陽の火山

◇地質
　岩手県の化石
　日本列島について
　化石のでき方
　化石展示
　地質変化

◇鉱物
　結晶系の基本形
　偏光顕微鏡
　スライド上映
　世界の火山
　地質のでき方

化学 人気絶頂！

例年、本校文化祭において、化学部の研究は好評である。今年もそうであろう。

主な展示内容と概要

◇衣料の漂白
　日常生活にむすびついた衣料についての漂白を研究

◇酸素の諸作用
　有機化学でも最も興味のある酸素の作用等の研究

◇タンパク質の検出の反応等についての研究

◇植物の色素
　植物体内の色素の反応についての研究

◇金属樹
　金属イオン化傾向を利用しての美しい金属の結晶をつくってみる。

◇石鹸の製造
　製造過程を違わせてできあがった石鹸の比較的等

◇ケミカルガーデン
　美しい化学の花園をつくる。生長度合を研究。

物理

昨年の文化祭は、会場に幕をはりすぎたため少し暗くなり狭い感じでそのため観覧者が少しためらい、またきゅうくつに感じる程だった。今年の物理展は、明かるく、多くの観覧者にじっくり見ていただこうとガンバッテいるようである。

昨年と同様部員が少ないため、あまり出品数は多くはないが、内容は充実して物理というものを身近に感じるようになったという点はすばらしいといえよう。

内容としては「通信衛生」「FM放送」というように毎日の生活になじみの深いものを選んでおり、その他アメリカ文化センターやNHK盛岡放送局の協力を得て、内容は明かすことは出来ないがおもしろい作品ということだけいえるものを展示してあるので、昨年にもまして多くの父兄や子供までたのしむ事が出来る会場である。

体育

体育各部の今年の活躍状況を表や統計によって紹介するほか、例年通り、各部のユニホームの展示、優勝旗、賞状などの展示、校内の体力の測定統計や希望者には握力、背筋力、肺活量身長、座高、体重なども測定する。

山岳

岩高山岳部は体育部中最も伝統ある部であるが文化祭においても伝統を発揮し毎年好評である。

今年の展示物は例年通り名物のつり橋、ケルンを初めとして室内に夏・冬テントを張り、山岳写真、八幡平。岩手山の各登山コースの所要時間及び距離を表にて説明する。

その他今年の新展示として、岩手山頂付近の模型及び遭難防止法など。

尚、岩手県の山及び登山についての質問にこたえる。

映画 "招待券を差し上げます"

元来、映画部は文化祭に於いて高二が主体となって行なわれてきたが、その点今年は例外であり、高三が主体となって活躍し展示内容をより充実したものにしている。

主な展示内容としては

◇アンケートにおける「映画の社会に対する影響について」これは思いがけない収穫である。

◇映画雑誌「映画の友」、「スクリーン」提供の作品展示。

◇校内、校外の高校生から募集した似顔絵のコンクール。その他このような展示であるが、ただ残念なのは今年のポイントであった「映画のできるまで」というのが、提供者の都合でとりやめになったことであろう。

また当日（二日、三日）に五十番目に入場した人と百番目に入場した人に映画の招待券を贈呈するということ。

× × ×

出版 今年も好評

毎年、多くの観覧者の足をクギ付けにしてきた、出版展は、今年も、例年通り多くの観覧者を引きつけようと、昨年にも増してすばらしい展示をしている。今年は昨年のようにアンケートによるものではなく、部員が毎日、かけずり回って集めた資料の発表ということで、多くの観覧者を引きつける事は確実。

◇石桜新聞の出来る迄（これは毎年続いているもので、編集会議に始まって発行迄をくわしく、多くの珍らしい資料などをまじえて説明する。

◇オリンピック写真
（オリンピックにおけるゴールドメダリストや活躍した選手の写真を展示）

◇市内、新聞発行数
（これは市内で売られている新聞名とその部数を紹介）

◇石桜新聞、会誌〝石桜〟の紹介
（石桜新聞の創刊号や会誌〝石桜〟の創刊号から現号迄を紹介）

絵画 展示絵画百余点

今年、絵画部は部員十九名という少ない人員ではあるが、比較的内容が充実しているようである。

主な展示内容

◇県下高校美術展、盛岡高校美術展においても好評だった。絵画等も展示され、総数百余点も昨年と大体同数、他に石こうデッサン素描など油絵においては、五十号、四十号と、大きな判の作品も出品されあって一昨年の文化祭の絵画展を思わせ、多くの人の目をたのしませてくれるであろう。この中には、話すことより腕という言葉がピッタリするような作品も多く見うけられ、この言葉が当てはまらないような未熟な作品でも真面目なものは否定されがたいものである。

また最終日には最優秀作品など金銀の色紙がはられるのも一つのたのしみであろう。

最後に一つ申し上げたいのは、ただ単に筆を動かしているような絵が見られることは残念である。

写真 全員ハッスル！ どんな問題もチョイ

今年写真部は部員も好調の波にのってこの文化祭を切りぬけんものとがんばっている。

また写真展示は今回一般生徒からは募集せず、写真部員だけの作品発表となっている点もどれだけ写真部が活動したかを物語るものとして注目出来よう。

展示内容◇写真展示◇高体連・運動会の写真展示◇盛岡市内高校写真連盟の作品を特別展示◇研究発表◇映画、テレビ接写と複写（映画、テレビ雑誌等の複写する方法）の研究　交換レンズの効用、EEカメラの研究

編集後記

文化祭の頃ともなると、どことなく、我が新聞は、あわただしくなるが、あわただしいのではなく、さわがしくなるのである。この新聞を作る時もそうであった。持込迄がずか四日という期間の中で、記事を集めたり、割り付をしたりして今日の発行となったわけであります。なにせ短期間の編集のため多少の間違はお許し願いたいと思います。最後に発行にあたり御協力下さった方々には深く感謝いたします。

アルフレッド・ヒッチコック監督
マーニー
ミステリー映画の傑作！
「007」のショーン・コネリー
「鳥」のティッピー・ヘドレン
「逆転」のダイアン・ベイカー
男性の好きなスポーツ
ロック・ハドソンの大型コメディ！
9日まで 中劇

死をみつめる幼き命に涙する裕次郎の感動人間ドラマ！
総天然色 敗れざるもの
芸術祭参加作品　岩手県青少年映画委員会選定
原作 石原慎太郎 〝小さき斗い〟より
石原裕次郎 小倉一郎・十朱幸代

同時上映
泥にまみれ、傷つき、苦しみながら燃えあがる純愛の炎！
愛しながらの別れ
浜田光夫 和山桃子 内藤武敏

★暖房完備★絶讃上映中13日まで
盛岡 日活

展示会場は順序正しく御覧下さい。

尚講堂での催しものは三日です。